



Jems News

No. 153

2025 年 2 月 15 日

日本環境変異原ゲノム学会

<https://www.j-ems.org>

***** 研究室だより *****

大阪公立大学大学院理学研究科
生物化学専攻環境分子毒性学教室
教授 川西 優喜

当研究室では、環境汚染物質、人工化学物質や天然物の毒性、とりわけ遺伝毒性と内分泌攪乱性について、毒性発現の分子メカニズムの解明や、検出・定量法の開発をおこなっています。また、内・外因性の活性分子種と生体内代謝物の反応で生じる化合物の解明などにも着手しています。大腸菌や哺乳類培養細胞を用いた各種遺伝毒性試験、酵母バイオアッセイ法による多種類の核内受容体リガンド活性評価、遺伝子改変マウスを用いた病態関連のテーマなどを展開しています。

現在研究室には常勤教員の筆者の他、学部学生 5 名、大学院博士前期課程学生 5 名、非常勤研究補佐員 3 名、客員研究員 9 名が所属し、研究活動等に従事しています。客員研究員は、そのほとんどが現職をリタイヤした京阪地区在住のベテラン研究者で、自身の研究を遂行するだけでなく学生の指導にも熱心で、研究面はもちろん場合によっては就職（や人生の諸問題）についても丁寧に指南されています。学生諸君にとっては祖父母のような（??）存在ですが、大変よい刺激になっています。これは当研究室の誇れる特色のひとつだと思います。



2024 年 3 月の大阪公立大学卒業式・修了式の日

ところでこの研究室は 2016 年から、JEMS 若手の会として位置づけられている変異機構研究会の事務局を務めています。会最大のそしてほとんど唯一の活動「夏の学校」には、毎年、研究室を挙げて参加しています。この「勉強合宿」には 20 歳代前半の学部学生から 80 歳代の名誉教授まで多彩な参加者がありますが、JEMS 年次大会など大きな会場のとはまた違った、アットホームな雰囲気の中で、学生にとっては第一線の研究者に臆せず質問できる良い教育機会となっています。



2024 年 12 月の JEMS 岡山大会の日

大阪公立大学は、2022 年 4 月に大阪府立大学（堺市）と大阪市立大学（大阪市）の 2 大学が統合し誕生しました。1 学域 11 学部と大学院 15 研究科をもち、学生数は公立大学としては日本最大規模です。一学年あたりの学部生定員は、国公立大学としては大阪大学、東京大学に次いで第 3 位になりました。そして 2026 年 4 月、私たちの所属する大学院理学研究科生物化学専攻は理学研究科から独立し創薬科学研究科に改組される予定です（文部科学省への設置認可申請準備中）。なお理学部生物化学科は存続し、私たちの研究室は理学部生物化学科・大学院創薬科学研究科創薬科学専攻の所属になります。

最後になりましたが、私たちの研究室は JEMS に育てて

いただいていると言っても過言ではありません。先生方、
ありがとうございます。引き続きご指導ご鞭撻のほど、ど

うぞよろしくお願い申し上げます。